6日延べ236人 おかやま派遣村終了 ボランティア324人

事故なく無事終了

２００９年１２月２９日から２０１０年１月３日まで開いたおかやま派遣村が終了しました。６日間の入村者は延べ２３６人、ボランティアが３２４人、カンパが３６万円（いずれも速報値）でした。

この期間に村を訪れ宿泊場所を希望された方にはすべて提供することができましたし、すぐに生活保護につなげていくこともできました。その点では、命をつなぐという最低限の役割は十分果たせました。

深刻な相談内容

しかし、東京の派遣村でも年始から支援が重要と発信しているように、派遣村を頼ってこられた方の年明け以降の支援が重要です。

おかやま派遣村に寄せられた相談件数は、シェルター利用だけで１０数件、生活保護申請関係で１０件ほど、それ以外ではサラ金などへの借金問題・配偶者とのトラブル、健康相談などを全部あわせると３０から４０件ほどに上るものと推計されます。

どの相談内容も簡単にすむ問題ではなく、引き続き、親身な対応が求められています。

引き続き暖かい市民の反応

１月４日の仕事はじめになっても市民からの暖かい反応が数多く寄せられています。「新聞で記事を見た、自分のところで『パンパン菓子』を作っている。炊き出しの時におやつとしてくばったらどうか」と贈ってくださったり、食器類の登録をするので、必要になったら引き取りにきてほしい」など支援の輪が広がっています。マスコミも昨年よりも派遣村の規模が拡大しており、政治の役割の重要さに言及するなど、社会問題として追及・報道しています。

政治の転換を

また、今回の派遣村の活動を通じて派遣・労働者支援センターを構成している組織の構成員一人ひとりにも、この運動の重要性を体感できたことも大きな成果です。

支援の必要な方への援助とともに、こうした現状を生み出した日本の政治を変えるたたかいをさらに強めていくことが実感できた派遣村でした。

カンパの振込先

＜ゆうちょ銀行＞
①店番548
②普通・③口座番号：３５１５０９４１
④口座名：岡山市派遣村
＜労働金庫＞
①中国労働金庫・岡山西支店
②普通
③口座名：派遣・労働者支援センター
事務局長　加藤　雄一
④口座番号　４９９１２３３

派遣・労働者支援センター
派遣村ニュース

第６号　2010年１月４日
発行：派遣・労働者支援センター
岡山市北区春日町5-6　県労おかやま内
TEL. 086-234-2041　fax. 086-221-3595